

(十一) 日本海員組合横濱支部ノ近況

五月十八日委員会ヲ舉ぐケルニ日本海員組合横濱支部ニ於テハ其佐海員業方
會本ニ存心シテ、アルモ豫期ノ成績ヲ見ル能ハス實際會費ヲ納入シ居ル會員リ
ニ之各ニ過キテハムナク猶崎會長ノ私財ヨリ約五千圓ノ融通ヲ受ケテ辛シクテ
維持シ居ル有様ニテ役ヲ之ニ事業トシテ見ハキモノナク、近ク「海のカ」ト
題スル機關雜誌發行ノヲ定アル外六月一日ヨリ新ニ海員ノ無料職業米級
介及海員等宿所ヲ設定スル計劃ヲ為セリ

然ハニ經費多ク端ニテ實現困難ナリ一昨友記會會員等宿所ヲ同組合ノ指
定ニ特約シテ別記(オロウ)ノ特約書ヲ徵收シテ會員ニ對スル便宜ノ方途ヲ
講シ来リ成績納見ルノキモノアリシヲ該る事未開始ノ為ノ勢ク他ノ海員同業業
者及寄附業者等ニ影響言及ボスヤノ聞、トルヨリ改由支部長ニ之カ前後
策ヲ講スル為ノ六月一日別記(オロウ)ノ寄附業者及同業者等ヲ召集シテ

一、事務的及規程ヲ表示シテ協議スル所アリタルカ、是可成業者ハ、今會指書約ノ
料金ヲ支附セリハ、ニ付、相カノ利益アルヲ以テ孰シモ指定寄附所アリ表
議シタルモ周旋業者ハ、無報酬ニテ、全額何事利益ナキヲ以テ之ニ指定シ
承認スルモノナク、結局周旋指定ノ方リ不纏、散会シタルカ、今支部ニテハ
周旋指定ニ對シテモ何等カノ名義ヲ以テテ報酬ヲ供フルノ途ヲ講スル模
様ニテ、目下神田本部ト協議中ナリ

指定海員等宿所

横濱市角町三丁目

清水敏彦 是外二名

特約書 (オロウ)

今田哲吉者方ヲ組合員等宿所トシテ指定下サレ候ニ就テハ、該宿所ニ於テ
事務的、嚴守可仕サ

一、組合若クハ組合員ノ信用名義ヲ傷ケ又ハ組合ノ進展ヲ阻
止スルカ如キ行為ハ一切之ヲ為サハコト